

会期:2018年4月28日(土)~29日(日)  
会場:仙台国際センター  
会頭:谷田皮膚科医院 院長 谷田 泰男 先生



## 第34回

# 日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 ランチオンセミナー12

34  
SEIDAI 2018

座長

岩手医科大学医学部 皮膚科学講座  
教授 天野 博雄 先生

講演1

### ここでしか聞けない、 爪白癬の病態と診断: ダーモスコピー所見

帝京大学ちば総合医療センター 皮膚科  
准教授 佐藤 友隆 先生

講演2

### 日本初の爪白癬外用剤 クレナフィンのホントの 効果とは

愛知医科大学 皮膚科学講座  
准教授 大嶋 雄一郎 先生

日時	2018年4月29日(日) 12:10~13:10	
会場	第6会場 仙台国際センター 展示棟 会議室1・2 〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地	

共催:第34回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会/科研製薬株式会社

裏面に抄録を掲載しております

目からウロコ!  
すぐに役立つ、爪白癬の診断と治療



## 第34回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 ランチョンセミナー12

# 目からウロコ！～すぐに役立つ、爪白癬の診断と治療～

### 講演 1

## ここでしか聞けない、爪白癬の病態と診断： ダーモスコピー所見

帝京大学ちば総合医療センター 皮膚科 准教授 佐藤 友隆 先生

爪白癬の病態を考えるとときにまず重要なのは爪の解剖と臨床病型である。爪のどの領域に白癬菌が存在するのかが重要である。感染の経路についての研究はいくつか存在する。爪甲基部、つまり爪上皮からの感染と遠位からの感染が考えられているが、我々皮膚科医がもっとも遭遇するDistal and lateral subungual onychomycosis (以下DLSO)は別名爪床の爪白癬といわれ、爪床を中心に白癬菌が存在する。爪甲を観察するには視診は重要であるが、我々にはダーモスコピーがある。爪を様々な方向から観察することができる。爪甲表面を観察することは最も重要であるが、爪の遠位から、また開窓処置した爪甲を裏返して観察することも可能である。爪白癬の診断に有用なダーモスコピー所見をいくつか提示する。爪甲変形の50%が爪真菌症であるが、残りの50%は異なる原因によるものであるとの文献がある。治療をする以上、正確な診断が必要であり、その最も重要な診断根拠はKOH直接鏡検である。皮膚科医が専門性を発揮して診療していくには、自らKOH直接鏡検を行い、正しい診断を確定して治療を行う必要がある。治療前には確実に真菌要素の有無を確認する必要があり、さらに治療経過中においても、鏡検にて、真菌要素の変化を経時的に確認して、臨床的改善度と、真菌学的改善を確認していくことが望ましい。クレナフィン爪外用液を使用した自験例についても実際の臨床写真を提示して報告する。本講演では爪白癬診療において役立つダーモスコピー所見に焦点をあて、明日からの爪真菌症診療に役立つセミナーとしたい。

### 講演 2

## 日本初の爪白癬外用剤クレナフィンのホントの効果とは

愛知医科大学 皮膚科学講座 准教授 大嶋 雄一郎 先生

Japan Foot Week研究会の調査において、本邦における爪白癬患者は約10人に1人であり患者数は約1,200万人と推測され、皮膚科の日常診療でもよく見かける一般的な疾患である。従来その治療には、「経口抗真菌薬」と「適応を有さない外用抗真菌薬」の使用が主であったが、2014年9月に日本初の爪白癬に対する外用抗真菌治療剤であるエフィナコナゾール(クレナフィン爪外用液)が発売になり、外用療法だけでも爪白癬が治療できる時代となった。しかしながら、クレナフィン爪外用液の治癒率を見て、「本当に爪白癬が外用だけで治るの？」と疑問に思った先生方も数多くいらっしゃるでしょう。そこで、今回、爪白癬患者51例に対しクレナフィン爪外用液の治療効果と治療満足度について検討した。患者は平均年齢69歳と高齢者が多く、罹病期間は約8年、感染面積50%以上が約6割と重症例が多く含まれていた。感染面積50%以上の重症例29例31趾において、感染面積のみならず新生爪の伸長にも有意な改善を認めた。患者の治療満足度は約70%と高い満足感が得られ、また治療効果を実感した時期も約80%が6カ月以内と早期に実感していた。これは患者の治療継続意欲の向上にも繋がると考えている。今まで抗真菌剤内服でも改善を認めなかった症例、高齢や他科で多数内服しているという理由から爪白癬の治療を諦めていた患者に対してクレナフィン爪外用液は、肝機能障害の心配や他剤内服薬の影響を考える必要が少なく、高い治療満足度が認められうる薬剤であると考えられる。